

研究課題名	膀胱留置カテーテル挿入から 24 時間以内に抜去する患者様に対する、リリアムワンでの残尿測定実施の必要性の検討
実施責任者	所属・職名： 2南病棟 看護師
	氏名： 田村 綾菜
研究の概要	当部署では循環器内科を主体としており、経皮的カテーテル焼灼術や経皮的末梢血管治療時に、膀胱留置カテーテルを挿入しています。治療後は挿入から 24 時間以内に膀胱留置カテーテルを抜去するケースが多く、抜去後は膀胱用超音波画像診断装置「リリアムワン」を使用し、尿が膀胱内に残っていないか（以下残尿測定）を確認しています。膀胱留置カテーテルの挿入期間が短い場合、排尿障害になる事例は少なく、残尿測定は必要なのか疑問に感じました。そこで、24 時間以内に膀胱留置カテーテルを抜去した患者様のリリアムワン測定値を集計し、データ分析することで、残尿測定の必要性を検討します。
対象となる個人情報	電子カルテシステムより、年齢、性別、既往歴、リリアムワンで測定した測定値、残尿感の有無などの情報を収集します。この内容に氏名、住所といった個人を特定できる情報は含みません。
実施の期間	西暦 2025 年 7 月 1 日より
	西暦 2025 年 9 月 30 日まで
研究対象	2南病棟に経皮的カテーテル焼灼術や経皮的末梢血管治療のため入院し、膀胱留置カテーテルを挿入から 24 時間以内に抜去した患者様が対象となります。